

皆さん、明けましておめでとうございます。

年末年始の心配された大雪は、初詣や観光などにはかなりの影響があったと思われますが、その他の面では今のところ、大きな被害などがあったとの報告はないようであります。

年末年始に防災警戒や除雪などの勤務に当たった各部局の職員の皆さんには、大変ご苦労さまでした。深く感謝申し上げます。

さて、仕事納めのときにも申し上げましたが、去年は、島根が全国の人々によく知られるようになった年でありました。

典子さまと国麿さんの「平成の縁結び」、錦織圭選手の大活躍、そして年末の紅白歌合戦では、水森かおりさんが「島根恋旅」を歌ってくれました。

県外の知人や友人からの年賀状には、「島根のことをテレビや新聞で見た、また今度、行くよ」などの添え書きが沢山あって、この人も見ているのか、と心強く思いました。

尾道・松江線がこの 3 月には全線開通し、隠岐諸島のある日本海—中国山地—瀬戸内海—太平洋が南北の縦軸でつながります。

広域の観光や産業振興などで、広島県や愛媛県などとの連携を深めていかなければなりません。

また、昨日から始まったNHKの大河ドラマ「花燃ゆ」の舞台、山口県萩市の方角に向かって山陰高速道の建設も着々と進められようとしています。

鳥取県、島根県そして山口県の 3 県の連携も図っていかなければなりません。

私は、今、島根全体を活性化するのに良い条件が整いつつあると思っています。

第一に、島根は大都市から遠いということが、発展の大きな障害でありましたが、道路、鉄道、空路そして情報網などの整備がかなり進んできて、そうした障害が低くなろうとしています。

第二に、東京など大都市に住む若い人達などの中で、大都市の喧噪を離れて、自然豊かで子育てしやすい地方での生活を望む人も増えています。

この傾向は今後も続くと思われます。

第三に、政府自身が、はじめて日本の人口減少問題を食い止めるためにも、住みやすく、子育てしやすい地方を大事にしなければならないとして、アベノミクスの効果が地方に届いて、「地方創生」が始まるよう、国の予算を編成しようとしています。

このため、政府におかれては、今日から今年度の補正予算、来年度の当初予算の編成作業を本格的に始められます。

県におきましては、国の「地方創生」の動きに並行して、昨年の夏以降、県議会をはじめ、市町村や県内各界のご意見などもお聞きしながら、島根のさらなる活性化のための戦略と具体的対策の検討・調整を行ってきております。

県は、これを踏まえ、今日からまた来年度予算編成などの作業を行ってまいります。

我々の前には、産業振興、観光振興、農林水産業対策、雇用の確保、インフラ整備、医療、福祉、教育、治安、環境保全など多くの課題があります。

島根の発展のため、県庁一丸となって全力で取り組み、今年が「地方創生元年」の年となりますよう、皆さん、一緒に頑張っていきましょう。

このことを皆さんにお願い致しまして、私の年頭の挨拶と致します。

※当日は、この原稿を元に若干の修正を加えて挨拶を行っています。